



ふれあい帖佐



令和8年3月1日

～帖佐校区まちづくりスローガン～

【ふれあいの心豊かな人づくり】 【思いやり和と輪の絆でまちづくり】

～会長挨拶～

少しずつ春の訪れを感じる頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。皆様には日頃より校区コミュニティ協議会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、当協議会が主催する二大行事の一つである「帖佐八幡神社浜下り」を昨年11月2日に盛大に終わることができました。これも一重に関係者はもとより皆様方のご協力の賜物と改めて厚く御礼申し上げます。今年度は浜下りを多くの方に知っていただき、楽しんでいただきたいと思い、巡行ルート由市役所経由ルートに変更し実施しました。お陰様で大勢の方に見学していただき大いに賑わいました。変更前のルートは十日町公民館を経由するルートで、十日町の皆様には長年に渡って休憩時の接待など多大なご協力いただいております。心より深く感謝申し上げます。

さて、二大行事のもう一つが「帖佐十九日馬踊り」です。こちらは3月15日に稲荷神社境内で開催いたしますので、多数のご来場をお待ち申し上げます。

帖佐校区コミュニティ協議会 会長 中原浩二



協議会が学校と合同で取り組んでいる事業に、「SSVC+事業」があります！ 7年度に実施したS (school) S (support) V (volunteer) C (coordinator) + (plus) 事業 について紹介します。

Q SSVC+ (エスエスブイシープラス) 事業って何？

A SSVC+事業は、平成26年度から始良市が取り組んでいる”学校を地域全体でサポートする「SSVC事業(学校応援団事業)」にプラスして、学校も地域づくりに貢献する活動を行い、学校と地域が一緒になって地域づくりを行っているという事業のことです。

協議会のまちづくりスローガンに「ふれあいの心豊かな人づくり」がありますが、これを実践する手段として、協議会も帖佐小学校と一緒にSSVC+事業に取り組んでいます。

では、令和7年度に実施したSSVC+事業を紹介します。

● うなぎの稚魚放流会

令和7年6月28日(土) ナフコ始良店横の山田川右岸堤防で実施しました。

大きくなって帰ってきてね



ちっちゃ！

ぬるぬる



子ども21名、保護者11名、関係者14名、計46名が参加しました。うなぎの稚魚を見て、触って、放流する体験をしました。皆、初めての経験でした。見る、触る、感じるという体験は、子供の成長にとって大切な情操教育です。心豊かな大人になってくれることを願っています。

● **田植え～稲刈り～掛け干し～餅つき体験会** (豊留地区:「セルフあいら」横の田んぼ)

田植え、稲刈り、掛け干し、餅つきまでの作業を体験しました。これも皆、初めての体験でした。お米を口にするまでの生産者の苦労や大変さが理解できたようでした。当たり前の中にいろんな苦労があることを知るきっかけになったと思います。農作業体験を通じて豊かな情操を育み、郷土愛に溢れる大人になってくれることを願っています。

《田植え体験》令和7年6月21日(土)に実施しました。



子ども18名、保護者13名、関係者14名、計45名が参加しました。一列に並んで泥んこになりながら手植えを体験しました。田植え機を操作して機械植えも体験しました。

《稲刈り、掛け干し体験》令和7年10月25日(土)に実施しました。



子ども12名、保護者8名、関係者18名、計38名が参加しました。鎌を使って稲刈りし、稲架掛け(はざかけ)に干す作業を体験しました。稲刈り機を操作して機械刈りも体験しました。

《餅つき体験》令和7年12月20日(土)に実施しました。



子ども15名、保護者11名、関係者32名、計58名が参加しました。もち米を蒸し器で蒸して、杵でついて、丸めるまでを体験しました。丸めた餅は各々持ち帰りました。

「帖佐八幡神社浜下り事業」は協議会が主催して取り組んでいる事業です！

まちづくりスローガン「思いやり和と輪の絆でまちづくり」を実践するために、協議会が主催となって取り組んでいる事業に「帖佐八幡神社浜下り」と「帖佐十九日馬踊り」があります。7年度に実施した「帖佐八幡神社浜下り」をご紹介します。

帖佐八幡神社浜下り (始良市指定無形民俗文化財)



帖佐橋を渡る武者行列

令和7年11月2日(日)に実施しました。八幡神社で例祭を行った後、稲荷神社で発興祭(はつよさい)、出発式を行い、午前9時半に総勢約150名の武者行列隊で松原海岸の御門神社を目指し出発しました。途中、市役所で松原なぎさ校区コミュニティ協議会の巡行隊と合流し、市役所前で1回目の神輿披露をした後、再び、総勢約200名の大隊列で出発、なぎさ公園で2回目の神輿披露をして、目的地の御門神社に着いたのは12時半、御門神社で御旅所祭(おたびしよさい)をし、巡行の無事を報告して解散となりました。



市内を巡行する武者行列



市役所前で神輿披露



御旅所祭(松原御門神社)

浜下りは、鎌倉時代に平山了清(ひらやまりょうせい)が京都から一族を引き連れて松原の御門(みかど)神社に上陸し、別府川をさかのぼり、八幡神社の地にお城を築き、帖佐の郷を形作った功績を称えると共に当時の苦労を偲ぶため、松原海岸まで巡行した御神幸祭(ごしんこうさい)が由来となっています。時代と共に途絶えたり復興したりを繰り返しましたが、平成12年に現在の形で復活しています。平成19年には市の指定無形文化財に登録されています。また、令和4年に松原なぎさコミュニティ協議会と「子どもスマイル交流事業連携協定」を締結し、松原なぎさ小学校の子ども達も途中から巡行に参加しています。

前月号(24号)で16自治会のうち8自治会の特色や取り組みをご紹介しましたが、今回は残り8自治会をご紹介します。

校区内の各自治会は、地勢や歴史など取り巻く環境がそれぞれ違うことから、抱える課題も、また規模や住民の生活スタイルもそれぞれ違いますが、地域住民が安心して安全にかつ快適に暮らせるよう活動しています。

納屋町自治会 (会長 新穂俊和)

世帯数：45世帯

特色：別府川と米山薬師に囲まれた地域です。小さな自治会ですが、新規加入等で世帯数は増加傾向です。グラウンドゴルフ、別府川の草払い、公民館清掃を年2回、多数の会員参加で実施しています。会員の相互交流をもっと進めていきたいと考えています。

鍋倉自治会 (会長 佐藤睦子)

世帯数：64世帯

特色：加治木町との境にある自治会です。高齢化が進んでいますが、最近若い世代の転入もあるので、これから世代交代を図っていきたいと考えています。夏の水神祭、グラウンドゴルフ大会、そうめん流し、サロン、新年会などで交流や親睦を深めています。

高樋自治会 (会長 川崎栄一)

世帯数：430世帯

特色：総世帯数は1,300世帯超、総人口は2,600人超と校区内で一番大きな自治体です。世帯数の増加に比べ自治会加入世帯数が伸びないのが悩みです。都市化が進む一方、運動会、田の神祭り、もぐら打ちなど伝統行事をしっかりと継承しているのは自慢です。

上場自治会 (会長 中原浩二)

世帯数：199世帯

特色：地域内の宅地造成が進み、若い世代の世帯が増加しています。子どもの数も年々増えてきており、8月の夏祭り、2月のもぐら打ちには多くの子ども達に参加します。もぐら打ちでは子ども達が自分で青年部と一緒にもぐら打ち用の「ホテ」を作ります。

青葉台自治会 (会長 福谷純夫)

世帯数：384世帯

特色：帖佐校区の南西に位置し丘陵地を造成した始良市最初の大型団地です。約50年の歴史を誇っています。夏祭りや運動会をはじめ七つの諸行事を行っています。「人と人とのつながり」を大切に老若住民が安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

朝日ヶ丘自治会 (会長 山崎清文)

世帯数：84世帯

特色：帖佐校区の南西に位置し丘陵地を造成した団地で、自治会ができて約45年になります。同世代が多く高齢化が急速に進んでおり、グラウンドゴルフ大会や親睦会の参加者が年々少なくなってきました。若い方の参加協力を期待しています。

上場団地県営自治会 (会長 大城美由紀)

世帯数：33世帯

特色：県営住宅センチュリー始良(5棟)に入居する住民で組織する自治会です。現在入居している世帯は33世帯で高齢化が進んでいますが、親子会とともにBBQ大会や花火大会を行い、交流が希薄になりがちな別棟間同士の交流が深まるよう努めています。

みさと台自治会 (会長 吉田政明)

世帯数：276世帯

特色：帖佐校区の南西に位置し丘陵地を造成した団地で、自治会ができて37年になります。夏祭り、レクリエーション、Xmasイルミネーションを開催して、住民の思い出づくりに取り組んでいます。自治会未加入世帯からゴミ箱使用料をいただいています。

帖佐八幡神社浜下りへのご支援(寄付) ありがとうございました。

(敬称略・順不同)

(有)imamura、天国葬祭、(社福)ほのほの会セルフあいら、松原上自治会、中原浩二
イエスランド加治木店、美容室きると、(株)原ハツリ工業、ニコニコさん髪髯良店
(有)スエハル自動車、ほほえみ在宅医療クリニック、始良市社会福祉協議会
始良郵便局、万吉ラーメン、(有)原田設備工業、徳重医院、竹内歯科医院
(有)フレード機工、名代かつ屋万さく、みさと台青壮年部、リカーランド山本
ケア&ナーシングあいら、ほっかほっか亭帖佐店、ほっともっと帖佐店、メガネのヨネザワ
オートガレージ相良、青葉台自治会、みさと台自治会、松ヶ野義治、米松勝利、福留修
内山義昭、上野博章、吉野えつこ、川崎信男、岩爪隆、新穂俊和、佐藤睦子、川崎栄一
八牟禮みどり、森弘道、下豊留栄、大山幸雄、鈴木優、川路勇一郎、黒江景文
福迫薩美、大山洋一、大山純英、帖佐運送(株)

頂戴いたしましたご寄付は、浜下り行事の運営に有難く使用させていただきました。皆様方からの温かいご支援に重ねて厚く御礼申し上げます。

帖佐校区コミュニティ協議会会長
帖佐八幡神社浜下り保存会会長

中原浩二

コミュニティ協議会支援員の異動について (お知らせ)

当協議会支援員の八牟禮みどりさんが令和7年12月で退職したため、後任として阿比留理佐(あびるりさ)さんが令和8年1月から着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

前任の八牟禮さんには、当協議会設立(平成27年8月)当初から10年余り勤務していただきました。明るく誰にでも好かれる人柄と迅速な仕事ぶりに会員一同大いに助けられました。

長い間本当にお世話になりました。これからもお元気でご活躍ください。

後任の阿比留さんも明るくはきはきとした性格で事務処理能力の高い方です。

まだ着任したばかりで不慣れですが一生懸命頑張っています。温かく見守ってください。

阿比留です。
よろしくお願いいたします。



～編集後記～

協議会便りは毎年度2回発行しています。今回は2回目の発行です。

広報誌編集にあたり、地域のイベントや珍しいニュース・出来事などがありましたら投稿をお願いします。また、一般の方々の広報依頼も受け付けます。

編集委員 中原浩二・吉田政明・福谷純夫
岩爪 隆・川崎栄一・阿比留理佐

事務局より

帖佐校区コミュニティ協議会の事務局は
帖佐地区公民館内にあります。

開設日時 毎週 月・水・金 8時30分～16時
職員 コミュニティ協議会支援員 阿比留理佐
電話 0995-73-7584
FAX 0995-73-7590

※お気軽にお立ち寄りください。